

# 千葉大学医学部附属病院小児外科で卵巣腫瘍の手術を受けた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年11月1日

小児外科

小児外科では、卵巣腫瘍に対する手術に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

- 2000年1月1日～2025年9月30日の間に当院小児外科で卵巣腫瘍核出術を受けた患者様

1. 研究課題名 「小児卵巣腫瘍に対する正常卵巣組織の温存を企図した腫瘍核出術の有効性評価」

2. 研究期間 2026年承認日～2030年9月30日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

私たちは、卵巣良性腫瘍に対する手術の際に、腫瘍核出術という正常卵巣組織をできるだけ残す手術に取り組んでいます。腫瘍核出術により、正常卵巣組織がどの程度切除標本に含まれているかを明らかにすることを目的として本研究を行います。腫瘍核出術にも細かくは異なる方法があるため、それらの方法を比較します。正常卵巣組織は顕微鏡での検査が必要であるため、手術の際に摘出した標本を用います。また、腫瘍核出術の方法により、術後の経過等を評価いたします。

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：病理組織標本・スライド

情報：年齢、身体計測情報、既往歴、手術記録、麻酔記録、手術画像、臨床経過、

血液検査、病理組織検査レポート、術前術後の超音波画像・CT・MRI 画像情報

## 5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：小児外科 教授 菱木知郎

## 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院小児外科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

## 7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば試料・情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。ただし、研究成果が発表された後は、参加拒否のお申し出に対応できませんのでご了承ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

小児外科 教授 菱木知郎

043（222）7171 内線5423